

取扱説明書

このたびはお買い上げいただき、誠にありがとうございます。正しく安全にお使いいただくためにも、この説明書をよくお読みになり、内容をご理解の上お使いいただけますようお願い致します。

Index

安全上のご注意	1
お使いになる前に	1
表面保護フィルムについて	1
作業台の各部の名前	2
作業台の構成パーツと標準付属品	2
作業台の組み立てかた	3~4
作業台の耐荷重について	5

アフターサービスについて
ご不明な点や修理については、
お買い上げの販売店まで
ご連絡ください。

品質表示

主な部品材質 ステンレス(SUS304 又は SUS430)
表示者 山金工業 株式会社
お客様ご相談窓口 TEL:06-6974-8511 FAX:06-6972-7104
URL: <https://www.yamakin-s.com>

ⓧ 本商品は自主検査に合格しております。

商品改良のため予告なく仕様を変更する場合があります。予めご了承ください。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」・「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告 誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。

注意 誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示します。

記号表示の例

	記号は、警告・注意を促す内容があることを告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は一般的な注意）が描かれています。
	記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は一般的な禁止）が描かれています。
	記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な指示内容（左図の場合は一般的な指示）が描かれています。

お使いになる前に

確認・点検

- 製品がお手元に届きましたら、型式、寸法、仕様などがご注文通りのものかご確認ください。
- 構成パーツ・付属品およびオプションの欠品はないかご確認ください。
- 輸送中の破損箇所等がないか点検してください。

お願い

- お取り扱いの際には、製品を傷つけたり、破損したりしないように充分ご注意ください。
- 雨や水のかかる場所に製品を放置しないようにしてください。
- 酸性の液体、塩分、洗剤原液が付着しないようにしてください。
- 潮風や海水のあたる場所には設置しないでください。
- 製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置するとサビの原因になります。

警告



上乗り禁止

- 製品の上に乗らないこと
ケガの原因になります。

注意



過積載禁止

- 天板や棚に物を載せ過ぎないこと
耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。



改造禁止

- 不当な改造をしないこと
不当な改造や指定以外の部品使用は製品破損等によるケガの原因になります。



高温低温禁止

- 高温、低温になる物のそばに設置しないこと
やけどや凍傷、樹脂部品の変形・損傷の原因になります。



ストッパー

- キャスター付の製品は、使用時に全てのストッパーをONにすること
ストッパーがはずれていると、製品の転倒や積載物落下などの原因になります。



専門業者

- 設置工事はお買い上げ店または専門業者に依頼すること
ご自分で設置工事をされ不備があると製品の転倒や落下などの原因になります。



軍手着用

- 組立、設置、清掃の時には必ず手袋を着用すること
素手で作業をすると、ケガの原因になります。



水平に設置

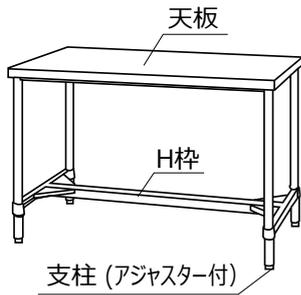
- 設置面が丈夫で平らな所に、棚面が水平になるように設置すること
傾いていると積載物が落下して、ケガの原因になります。

表面保護フィルムについて

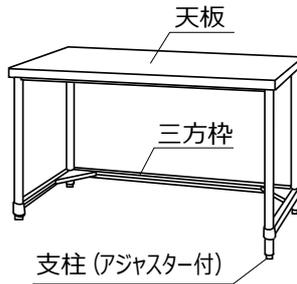
- 製品の表面には、「表面保護フィルム（青色または透明）」が貼られています。
- 「表面保護フィルム」は、製品のご使用前に必ず剥がしてください。（長期間たつと剥がれにくくなります）
- 製造過程で「表面保護フィルム」に治具跡（シワ等）が残る場合がありますが、製品には影響ありません。

作業台の各部の名前

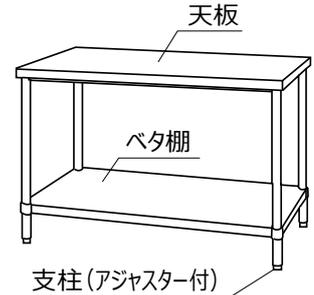
固定式 棚板なしタイプ
(WH- / WHN-)



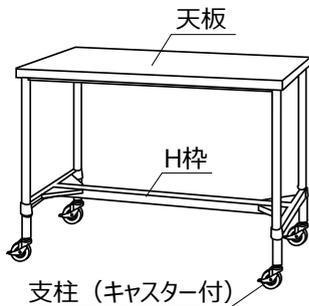
固定式 コの字タイプ
(WT- / WTN-)



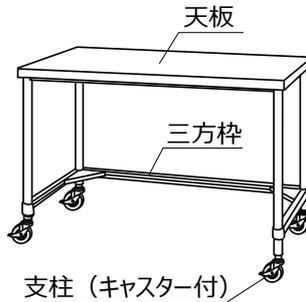
固定式 棚板付きタイプ
(WB- / WBN-)



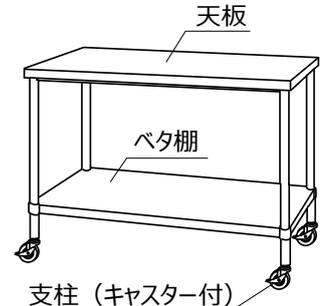
移動式 棚板なしタイプ
(WHC- / WHNC-)



移動式 コの字タイプ
(WTC- / WTNC-)

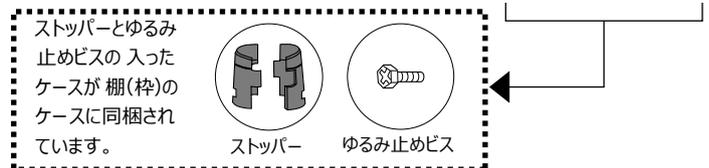


移動式 棚板付きタイプ
(WBC- / WBNC-)



作業台の構成パーツと標準付属品

固定/移動	脚部 バリエーション	品番 材質		天板 (枚)	棚または枠 (段)	支柱 (本)	キャスター (セット)	ストッパー (個)	ゆるみ 止めビス (本)
		SUS430	SUS304						
固定式	棚板なしタイプ	WH-□	WHN-□	1	1 (H枠)	4 (アジャスター付)	-	4	4
	コの字タイプ	WT-□	WTN-□	1	1 (三方枠)				
	棚板付きタイプ	WB-□	WBN-□	1	1 (ベタ棚)				
移動式	棚板なしタイプ	WHC-□-U75-	WHNC-□-U75-	1	1 (H枠)	4	1 (スパナ付)	4	4
	コの字タイプ	WTC-□-U75-	WTNC-□-U75-	1	1 (三方枠)				
	棚板付きタイプ	WBC-□-U75-	WBNC-□-U75-	1	1 (ベタ棚)				



作業台の組み立てかた

お願い

- 組立作業はできるだけ広く、平坦な場所で行ってください。
- 床面に毛布や段ボール等を敷いて、製品を傷つけないよう保護してください。
- 表面 保護フィルム（青色または透明）は、必ず剥がしてお使いください。

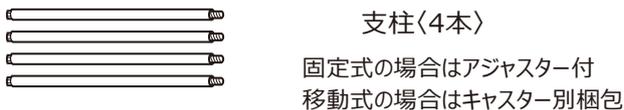
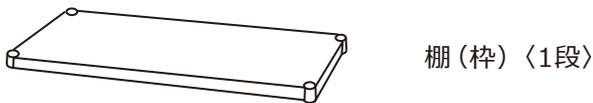
※説明図は棚板付きタイプ(WB型)を示しています。
他の機種も同様の手順で組み立てることができます。

1 構成パーツと標準付属品を確認します。

構成パーツと標準付属品がすべてそろっているか、確認してください。

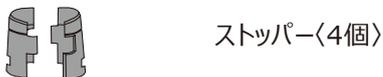
【標準仕様の構成パーツ】

詳しくは2ページの「構成パーツと標準付属品」をご参照ください。



※ストッパーとゆるみ止めビスは棚 (枠) のケースから取り出して、数を確認しておいてください。

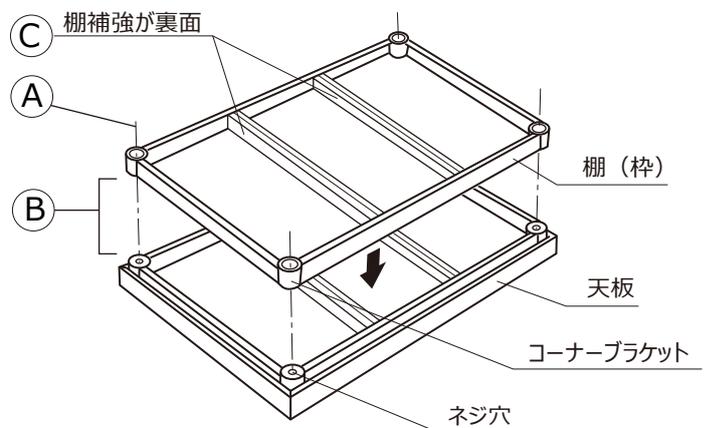
※ストッパーの耐熱範囲は-30℃～+80℃です。



2 天板と棚 (枠) をかさねます。

天板を裏返して床に置き、その上に、裏向きにした棚 (枠) をかさねてください。

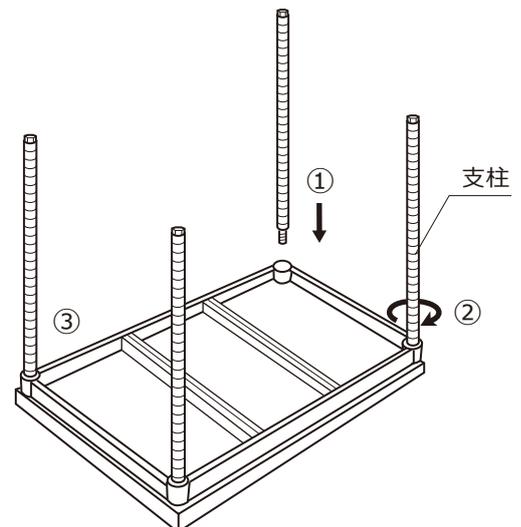
- ※コーナーブラケットの穴が、天板のネジ穴とぴったり合うようにかさねてください。①
- ※追加棚がある場合は、天板と下段の棚の間にしてください。②
- ※棚の表裏と順番を間違えないようにしてください。③



3 支柱を取り付けます。

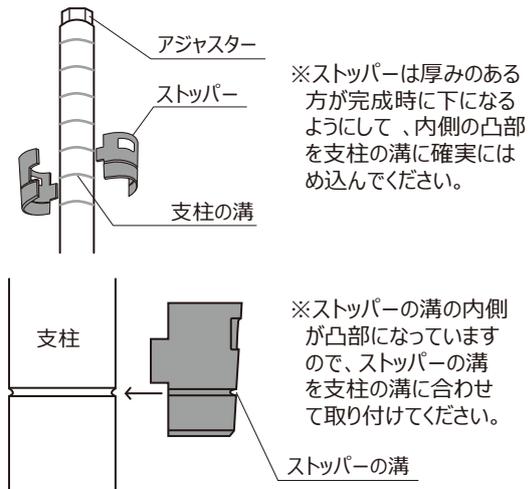
コーナーブラケットの穴を通して、支柱を天板のネジ穴にねじ込んでください。

- ※①支柱は垂直にねじ込み、②必ずネジ山の最後までしっかりとねじ込んでください。
- ※③4本ともねじ込んだらもう一度、1本ずつ締め具合を確認してください。
- ※支柱のネジ部分を傷つけないようにしてください。



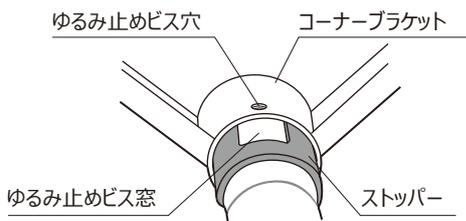
4 ストッパーを取り付けます。

各支柱の同じ高さの溝にストッパーを取り付けてください。



※完成時の棚板の上面は溝より約10mm上の位置になります。

※ストッパーのゆるみ止めビス窓をコーナーブラケットのゆるみ止めビス穴に合わせて取り付けてください。



コーナーブラケット部の内側を下から見たイラスト

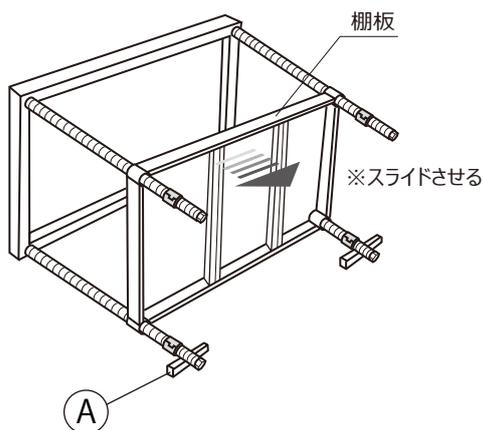
5 棚（枠）を取り付けます。

作業台を寝かせて、4 で取り付けしたストッパーの位置まで棚（枠）をスライドさせてください。

※棚（枠）が動かなくなるまでコーナーブラケット部分をしっかりとストッパーにかがせてください。

※この時、床側の支柱の下に3cm程度の厚みの物を敷いておくと組み立てがスムーズに行えます。①

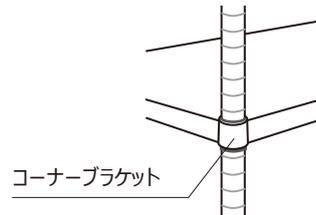
※あらかじめ天板の下にセットされた追加棚がある場合は、下段の棚（枠）を取り付けた後、4 ～ 5 の手順で下段から順に取り付けてください。



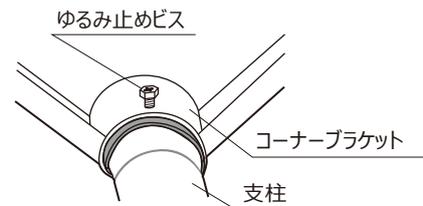
6 棚（枠）を固定します。

作業台を起こして、あて木などを使いコーナーブラケット部分を上から数回たたいて固定してください。追加棚がある場合も同じ要領で固定してください。

※必要以上に強くたたかないでください。また、コーナーブラケット以外の部分は絶対にたたかないでください。傷、破損、変形の原因になります。



※ゆるみ止めビスは、先端が支柱に密着するように、しっかりとねじ込んでください。



コーナーブラケット部の内側を下から見たイラスト

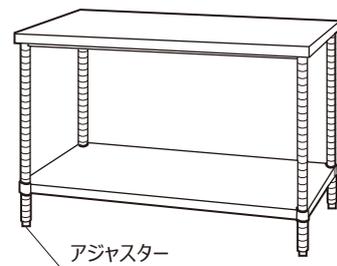
7 設置前に各部を点検します。

最後に、完成品の各部の状態を点検してください。

※各取付部分に「ずれ」や「ゆるみ」が無いようにしてください。

※支柱は垂直に、天板と棚（枠）は水平に取り付けられているか確認してください。

※作業台全体の水平はアジャスターで約30mmの調整が可能です。



※「表面保護フィルム（青色または透明）」は、必ず剥がしてお使いください。

※製品の汚れはすぐに拭き取ってください。放置するとサビの原因になります。

作業台の耐荷重について

⚠ 注意



過積載禁止

●天板や棚に物を載せ過ぎないこと

耐荷重の範囲を超える積載は、製品破損や積載物落下によるケガの原因になります。

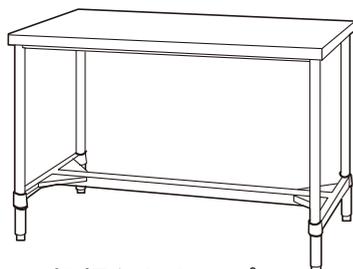
※耐荷重の数値は、すべて製品の自重も含まれます。
 ※耐荷重の数値は、諸条件により異なる場合があります。
 ※耐荷重の数値は、均等な荷重で静止した状態での数値です。
 ※組立式の製品は、正しく組み立てが行われている場合の数値です。

- 総耐荷重は製品全体の耐荷重上限を示します。
- 細文字の数値は部分耐荷重（特定部分の耐荷重上限）を示します。
- 部分耐荷重の合計が総耐荷重を超えない事が条件です。

固定式

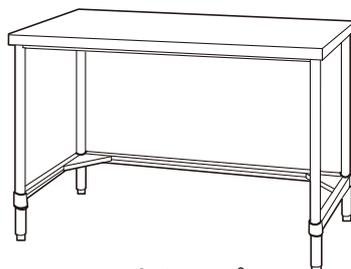
総耐荷重 150kg

天板150kg



棚板なしタイプ
(WH- / WHN-)

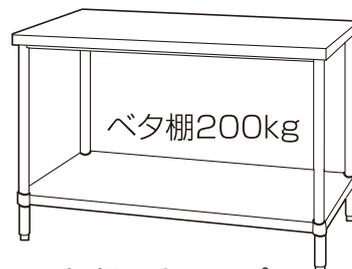
天板150kg



コの字タイプ
(WT- / WTN-)

総耐荷重 400kg

天板250kg



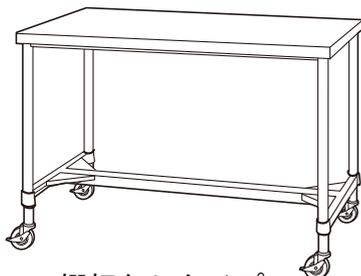
棚板付きタイプ
(WB- / WBN-)

移動式

※1 75φキャスターの場合

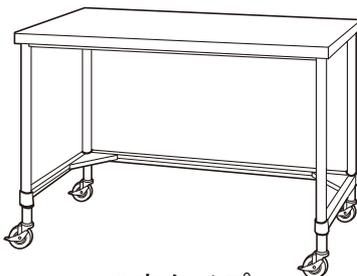
総耐荷重 150kg ※1

天板150kg



棚板なしタイプ
(WHC- / WHNC-)

天板150kg



コの字タイプ
(WTC- / WTNC-)

総耐荷重 200kg ※1

天板150kg



棚板付きタイプ
(WBC- / WBNC-)